

ETA・AAL Use Case

(みんなが使えるIT機器に: コミュエイド & シニアライフエイド)

□ IEC東京大会 ETA実証実験概要(2014.10~11)

実証実験1: ATM

利用者の操作によって画面表示や音声等を切り替える必要がなく、ICカードを挿入するだけで自動的にモード切替 (通常・外国語・高齢者・視覚障がい者等)。ATMを利用される全ての人にとって、より使いやすい環境を実現

ETA付ICカード挿入
(視覚能力・使用言語等)



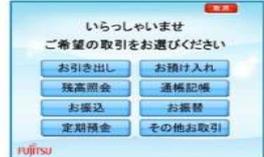
ATMの動作を
自動で切替

- 文字を大きく表示
- 見やすい画面
- 聞き取りやすい音
- 母国語で表示

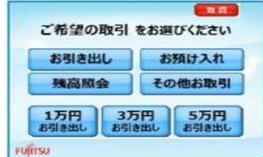


- ※モード例
- 通常モード
 - 英語/フランス語/ドイツ語モード
 - 高齢者モード (日本語/英語)
 - 視覚障がい者モード (音声誘導)

一般向け



高齢者向け



外国人向け



*英語高齢者向け



実証実験2: デジタルサイネージ

大型ディスプレイに接続したリーダライタにICカードをタッチすることで、自動的に希望のモード (6か国語の言語と音声読み上げ・大文字・白黒反転文字の組合せ) に切替ります。

*多言語モード: 画面 & 音声対応 (日本語・英語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語) *多種画面モード: 大文字・白黒反転文字

デジタルサイネージ (ドイツ語・大文字)



実証実験3: 電子化メニュー

レストランのタブレット端末にICカードをタッチすることで、表示が希望のモード (6か国の言語と音声さらに大文字・白黒反転の組合せ) に切替り、メニューのご紹介とオーダー処理をいたします。

*多言語モード: 画面 & 音声対応 (日本語・英語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語)

*多種画面モード: 大文字・白黒反転

電子化メニュー(タブレット)



□ AALユースケース例: パーソナル健康診断

